

公益社団法人 福岡県理学療法士会

令和 7 年度 第 1 回臨時理事会議事録

日 時：令和 7 年 6 月 15 日（日）15：25～16：10

場 所：TKP 博多ロカンファレンスセンター ホール 2A

出席者：(理 事) 西浦 健蔵、廣滋 恵一、松崎 哲治、諫武 稔、近藤 直樹、遠藤 正英、
佐藤 憲明、田代 耕一、佐々木圭太、吉村 雅史、吉田 大地、
善明 雄太、鈴木 裕也、岡本 伸弘、脇坂 成重、中村 雅隆、
永野 忍、後藤 圭、志田啓太郎、久保田勝徳、斉藤 貴文、岡本 伸弘、
安 勇喜、村上 武士、岩佐 聖彦

(外部理事) 田中 聡、松井麻実子

(監事) 田中 裕二、泉 清徳、古島 譲

(事務員) 中山 祥子、本村磨江香

(書記) 池永千寿子、田中 勇樹、末松 直子

(選挙管理委員会) 秋 達也、永友沙也佳

欠席者：(外部監事) 吉田 秀樹

議事に先立ち、田中 裕二 氏が司会を行うことを確認した。

I. 役員選定

1. 会長選定

定款第 22 条ならびに第 29 条に則り、会長の選定が行われた。

会長に西浦 健蔵 氏、鈴木 裕也 氏が立候補された。

2 名より会長への立候補演説が行われた。

西浦氏：マスタープランに基づいた運営を基本方針とする。会員に寄り添い、理事の能力を最大限に発揮するような組織を作る。福岡県がリハビリテーション発祥の地であるという歴史背景を背負い、その名に恥じない活動を推進する。将来的に、協会・県士会の会費のうち協会の会費を下げる取り組みを検討している。会長職を専従とし、いつか、各施設に訪問しながら対話を通じて、組織力をより強化する構想を目指す。

鈴木氏：理学療法士を対象とした取り組みは充実している一方で、県民にむけたアプローチに課題を感じている。県民アプローチへの強化に加え、会員が県士会に所属する意義を実感出来るよ

うな事業を継続・展開し、それに携わる県士会会員のやりがいと満足度も高めるような組織運営を目指す。

【質疑応答】

1) 両名への質問：活動会員制の減少に伴う減収は、会員および県民に対する事業の縮小につながる可能性を危惧する事態である。在会員数の増加および休会・退会数の減少に対する対策等を示してください。

鈴木氏：急激な会員数の増加は困難である。まずは、理学療法士会の魅力や役割を明確に伝えていく必要がある。県士会に所属する意義を実感出来るような事業を継続し、県士会の活動に寄与したいという思いや県士会員として良かったと帰結できるような体験を重ねて、会員増加を促進する考えである。

西浦氏：会員数の増加は当然の取り組みとした上で、組織活動は「投資」と捉えている。「理学療法大好き」という気持ちを一人一人に直接伝える、対話アプローチにより共感を広げていく。2年間での増員は困難であるが、前を向いて好きを伝えていく。

※質問者より加えて※

役員は会員から報酬をもらっている。職能団体・学術団体としての役割を果たし、結果を残す組織運営と執行をお願いしたい。

2) 鈴木氏への質問：県民に伝わりやすい理学療法士会を目指すという理念は理解できるが、具体策について、現体制とは異なる体制を考えられているのか。

鈴木氏：産業リハビリ、地域社会活動、学校保健分野への派遣を拡大し、県民との接点を増やす方針。将来的には、理学療法士が本所属先以外の場所でも理学療法を行って収益を得るシステムを構築したい。そのために、県士会とは別の事業会社を設立し、継続的収益の確保を目指す。ただし、制度的・実務的な課題が多いため、今任期2年間での実現は難しい見通しである。

秋選挙管理委員と永友選挙管理委員によって、1枚ずつ開票が行われた。

開票結果

西浦 健蔵 氏	: 23 票
鈴木 裕也 氏	: 3 票
白票	: 1 票

最多得票の西浦 健蔵 氏が会長に当選された。

→満場一致で承認

会長が選定されたため議長は西浦会長が務めることを確認した。

2. 副会長・事務局長選定

定款第 22 条ならびに第 29 条に則り、副会長 3 名、および事務局長の選定が行われた。

西浦会長より、副会長に廣滋 恵一 氏、諫武 稔 氏、松崎 哲治 氏

専務理事に近藤 直樹 氏が推薦された。

西浦氏：推薦の理由

廣滋 恵一 氏：前年度の北九州ブロック内をとりまとめられた。士会活動の長いご経験と教員の立場からの重要な意見をいただけ、副会長にふさわしい人材である。

諫武 稔 氏：副会長ブロック長でご活躍いただいた。財務部の長い経験から、支部だけでなく財務の分野でアドバイス、さらに会員の処遇改善などにも提案できることから推薦した。

松崎 哲治 氏：地域包括ケアシステムの構築へのご尽力、学術や職能でのネットワークの良さ、次世代を育てる活躍を期待し、推薦に至った。

遠藤 正英 氏：前年度の筑後ブロック内をとりまとめられた。また、幅広い知識、幅広い分野での提案や冷静な判断が出来ることなどから総合的にふさわしいと考える。

近藤 直樹 氏：時間を見つけては、様々な事務所などに挨拶に行かれ、細かく活動している。どうすれば県士会がうまく変わるかを常に考えている人材である。

→満場一致で承認

3. 担当部局の任命

西浦会長より、担当部局の任命が行われた。

- 1) 管理部
総務担当理事 : 近藤 直樹 氏
財務担当理事 : 佐藤 憲明 氏
広報担当理事 : 田代 耕一 氏
 : 佐々木圭太 氏
 : 吉村 雅史 氏
災害対策担当理事 : 吉田 大地 氏
- 2) 学術推進部 : 松崎 哲治 氏

学術教育担当理事： 鈴木 裕也 氏
： 善明 雄太 氏

- 3) 保健福祉部 : 松崎 哲治 氏
職能教育担当理事 : 中村 雅隆 氏
: 脇坂 成重 氏
: 平田 大勝 氏
地域包括ケアシステム担当理事 : 吉田 大地 氏

- 4) 北九州ブロック
北九州ブロック長 : 廣滋 恵一 氏
財務・総務担当理事 : 永野 忍 氏
学術研修担当理事 : 後藤 圭 氏
保健福祉担当理事 : 志田啓太郎 氏

- 5) 福岡ブロック
北九州ブロック長 : 諫武 稔 氏
財務・総務担当理事 : 久保田勝徳 氏
学術研修担当理事 : 斉藤 貴文 氏
保健福祉担当理事 : 岡本 伸弘 氏

- 6) 筑後ブロック
筑後ブロック長 : 遠藤 正英 氏
学術研修担当理事 : 安 勇喜 氏
保健福祉担当理事 : 村上 武士 氏
財務・総務担当理事 : 岩佐 聖彦 氏

- 7) 外務理事
田中 聡 氏
松井麻実子 氏

- 8) 監事
田中 裕二 氏
泉 清徳 氏
古島 譲 氏

9) 外部監事

吉田 秀樹 氏

西浦会長：以上の 31 名で令和 7-8 年度の県士会事業を執行する。活発な意見交換を今後の理事会で行えることを期待する。

以上この議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した会長ならびに監事は、次の通り署名する。

令和 7 年 6 月 15 日

公益社団法人 福岡県理学療法士会

会長 西浦 健蔵

監事 田中 裕二

〃 泉 清徳

〃 古島 譲